

Kyokuryo Exchange Program

「旭陵留学生プログラム」 Newsletter

岐阜県立中津高等学校
同窓会
平成29年12月21日

Vol.3

この「旭陵留学生プログラム」は全国でも珍しい同窓会による「海外留学奨学金制度」です。創立100周年記念事業の一環として、平成17年より開始されました。この夏の出発者2名を含め、過去12年間で総勢45名がアメリカ、カナダなどの英語圏に派遣されています。

今回、旭陵留学生第5期生としてカナダでの留学を経験し、中京学院短期大学部健康栄養学科で栄養士の資格を取得後、福井大学医学部医学科に進学し、医師になる夢を叶えるべく日々奮闘している青木慎奈美さんの近況を報告します。

この夏、7年ぶりに旭陵留学でお世話になったホストファミリーに会いに出かけたときの1ショット。1ヶ月の滞在の間、当時お世話になった高校の先生や友人、ホストファミリーの親戚など多くの人と再会し、近況報告をしました。



現地のイベントに参加

友人との再会を果たしました

Q:旭陵留学での体験が今の自分にどう生きていますか？

現在の英会話の能力や海外の人々と接する際のスタンスの基礎は、旭陵留学での経験にあると常にかけています。知らない人に話しかける、新しいスポーツに挑戦するなどの留学時の様々な経験から得られたものは、高校生時代に家族と離れ海外で生活することを選択することなしでは手に入らなかったと思います。

Q:将来の夢や希望を教えてください。

日本語ではもちろんですが、英語でも医学を勉強し、海外の様々な場所で仕事ができる医師になりたいと考えています。医師としてカナダでお世話になった方々に恩返しをしたいです。

西日本医科学生総合体育大会にて。中津高校時代は陸上部に所属していました。新しいスポーツとして空手に挑戦しています。

～留学中に慎奈美さんが感銘を受けた言葉より～
"Believe what you believe and go wherever you feel comfortable. That's the most important thing in our life."

自分の信じたことを信じ、心地よいと感じるところに行きなさい。それがあなたの人生で最も大切なことです。

